

## 2025 年 10 月例会報告 【とりで利根川七福神と松陽高校生街歩き】

開催日： 2025 年 10 月 13 日(月祭日)

集合場所： 常磐線 取手駅東口

集合時間： 9 時～9 時 10 分

コース：

取手駅東口(スタート)⇒ 光明寺(寿老人)⇒ 普門院(布袋尊)⇒ 相野谷親水公園⇒ 明星院(恵比寿神)⇒ 福永寺(毘沙門天)⇒ 東谷寺(弁財天) ⇒ 相野谷排水桶管 (昼食 12:15 予定) ⇒ 念仏院(福祿寿)⇒ 長禅寺(大黒天/三世堂)⇒ 取手駅東口 (18km コースゴール) ⇒ 常総ふれあい道路の銀杏並木⇒ グリーンスポーツセンター⇒ 龍禅寺(大金木犀)⇒ 稲戸井駅(25km コースゴール)

距離： 18Km コース (実質 16.2km)

25km コース (実質 23.3km)

参加者： 29 名 (会員 27 名/一般 2 名)

天候： 曇り 30 分程小雨

初めに：

水郷つくば・土浦歩こう会設立 (令和 3 年 10 月 1 日) から、5 年目に入りました。

私は、例会の担当を受け持つようになってから 3 年目に入ります。

お陰様で、今回は 7 回目の担当をさせていただきました。

これも、松崎会長はじめ、皆様のお力添えのおかげです。

ありがとうございます。

これからも、お手柔らかに、よろしく願いいたします。

概要：

今回は、雨予報にもかかわらず茨城県全域及び千葉県・東京都から 29 名と多くのご参加頂きありがとうございました。

天気も最高に近いウォーキング日和だったかと思えます。

今回の、立寄り個所にしました、取手駅・長禅寺・龍禅寺・稲戸井駅等は、令和五年 11 月に茨城新聞掲載の『取手松陽高校生の街歩き』を参考にさせていただきました。

今回は、18km と 25km の 2 コースからの選択制としました。

自分に合ったコースを選択していただき、18km コース 11 名・25km コース 18 名の方々が完歩されました。

18km コースは、取手駅の東側で七福神巡りをメインに、多くの坂道を堪能して頂けたでしょうか。

25km コースは取手駅の西側で、ふれあい道路のイチヨウ並木を見ながら、ほぼ直線の約 5km 先の取手グリーンスポーツセンターに立寄り、目的地の龍禅寺からゴールの稲戸井駅へ。

ウォーキング状況：

取手駅東口に集合し、常磐線沿いに北へ。

キリンビール取手工場の裏側を通り、昭和 56 年 1 月創設の『とりで利根川七福神巡り』へ。

最初は、『寿老人』中国生まれの長寿の神様。千五百歳をこえた鹿を連れています。(光明寺)



二番目は、『布袋尊』中国生まれの福德円満の神様。実在した禅僧。

人に弥勒菩薩（ミロクボサツ）の化身として尊ばれました。(普門院)





三番目は、『恵比寿神』日本生まれの漁業・商売繁盛の神様

大漁を祈るうちに海産物の売買から市の神となりました。(明星院)



民家に、大きなサボテンが!?! 『花は咲くのかな、何色かなー』

四番目は、『毘沙門天』インド生まれの戦勝の神様 (福永寺)

四天王の一人で北方を守護し、財宝を守る神様。別名、多聞天。



五番目は、『弁財天』インド生まれの音楽・学問の神様。七福神唯一の女神様 (東谷寺)

別名を妙音天、美音天。音楽の神様ともいわれています。



六番目は、『福祿寿』中国生まれの長寿安泰の神様

鶴と亀を従えた仙人で年齢は数千年。福（幸福）、緑（生活と経済の安定）、寿（健康にして長命）

の三徳をそなえているとされています。（念仏院）

と樹高 20m/幹回り 3.7m のイチヨウ



七番目は、『大黒天』インド生まれの豊作の神様。有福の権化・勤労の神様、商売繁盛の神様。

頭巾をかぶり、大きな袋を肩にかけ、右手に打出の小槌を持って米俵の上に立っています。

（長禅寺）



七福神巡りも終わり、長禅寺を後に 18km のゴール地点『取手駅へ』



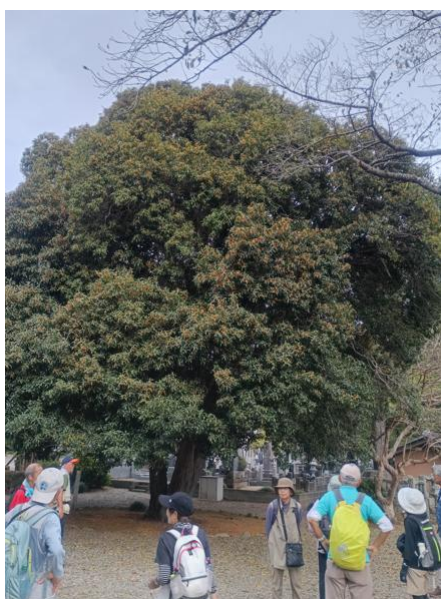


25km コースへの準備中？

取手駅を後に、グリーンスポーツセンター目指して、約 5km のイチヨウ並木と桜並木のふれあい道路を北西へ。

最後の立寄り場所『龍禅寺』までの 1.4km を黙々と。(電車の時間を気にしながら)

推定樹齢 190 年 幹回り 5.7m 樹高 15m の金木犀が花と香りでお出迎え。



国指定重要文化財の『龍禅寺三仏堂』

国指定重要文化財 昭和五十一年五月二十日指定

## 竜禅寺三仏堂

三仏堂は、延長二年(九二四)の創建と伝えられ、現存する堂宇は、正面三間、側面三間で、左右と背面に裳階が付いている。三方に裳階が付く形式は、三仏堂のほかに例を見ない珍しい建造物である。木鼻や葺股の彫刻や、建築様式から室町時代後期の十六世紀前半の建築と推定される。屋根は茅葺の寄棟造りで、内部は内陣と外陣に分かれ、内陣には禅宗様の須弥壇が置かれ、三仏堂の名前の由来ともなった釈迦如来、阿弥陀如来、弥勒菩薩の三体の仏像が安置されている。

三仏堂は、建築以来、何度かの修理が行われた痕跡や記録が残っているが、堂宇の特徴を大きく変更するような手は加えられておらず、中世建築の特徴がよく残されている貴重な建築遺構のひとつである。

昭和六十年から六十一年にかけて解体修理が行われ、現在建築当初の姿に復原されている。この修理の際に、永禄十二年(一五六九)の年号が書かれた木札が発見され、建築年代が裏付けられた。



三仏堂を拝観し、稲戸井駅へ。

時間がありましたので、稲戸井駅へ向かう途中の国道 294 号線沿いにある

桔梗塚（将門の愛妾である「桔梗御前」の墓）に立寄り、稲戸井駅へ。



皆様のご協力のおかげで、18km・25km コースとも、予定時間より早くゴール出来ました。

ありがとうございました

今後も、坂にもめげず 楽しんでいきたいと思えます

よろしくお願ひします

以上

記： 平山